

家畜由来バイオガス
兼松など4社が
食品工場へ供給

兼松、アレフ（札幌市白石区）、ダイダン、日本総合研究所（東京都千代田区）の4社は12日、家畜排泄物起源のバイオ

ガスを、アレフの食品工場であるびつくりドンキー北海道工場（北海道恵庭市）へ燃料として供給を始めたと発表した。4社では小型分散型のバイオガス供給事業を拡大したい考え。

供給ガスは、北海道千歳市内の酪農家に設置したバイオガス発酵プラントで製造。日量100立方メートルをボンベに充填し、約15キロメートル離れた食品工場

へ供給する。ボイラで灯油代替燃料として使用する。ボンベの配送は、既存の高圧ガスの配送網を利用する。

今回の事業は、これまで利用されてこなかったバイオマスを地産地消するモデルと位置づける。環境省の補助金を得ており、二酸化炭素（CO₂）削減効果は年間82トンと推計する。